

講義科目名称： 学校栄養教育概論

授業コード： 51800600

英文科目名称： Introduction to School Nutritional Education

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3	2	選択
担当教員			
蜂須賀 のぞみ			
火5			
添付ファイル			

科目の概要	<p>本科目は、「栄養教諭」免許取得のための科目である。</p> <p>栄養教諭は、小・中学校等において「学校給食の管理」と「食に関する指導」を一体的に展開して、児童・生徒が望ましい食習慣を形成し、生涯を通して健全な生活を送るよう支援する職務である。</p> <p>この科目では、栄養教諭の果たすべき役割や教育的な意義、栄養教諭創設の背景、及び学校給食の歴史、学校給食の管理、栄養・衛生管理、および地場産物を活用した郷土料理、子どもの食行動の実態を考慮した食事内容などについて解説する。また、給食の時間の運営や給食の献立と関連させた食に関する指導の方法を体得させる。</p>
授業の内容	<p>第1回 オリエンテーション 科目到達目標、授業の進め方や受講者の留意点等や栄養教諭の全体像を説明する。</p> <p>第2回 子どもの食生活の現状把握 子どもの発達と食生活の現状を説明し、食に関する指導の必要性を考える。</p> <p>第3回 栄養教諭制度 栄養教諭創設の背景、学校組織における栄養教諭の位置づけ、果たすべき役割を解説する。</p> <p>第4回 栄養教諭の職務内容 学校給食の管理と食に関する指導の目標および指導展開の方法を解説する。</p> <p>第5回 学校給食の変遷 学校給食の歴史、学校給食が果たしてきた役割、教育的な意義と食の変遷を解説する。</p> <p>第6回 日本の食文化－Ⅰ 食文化形成の要因および食文化の変遷、和食の特徴を解説する。</p> <p>第7回 日本の食文化－Ⅱ 年中行事（季節暦）の行事食、地域の産物を活用した郷土料理と学校給食を関連付けて解説する。</p> <p>第8回 学校給食の食事内容 文部科学省通達食事内容を解説し、行事食や地場産物を活用した献立の作成をする。</p> <p>第9回 学校給食の衛生管理 文部科学省通達の衛生管理を理解し、その在り方を考える。</p> <p>第10回 食教育活動 小学校における教育活動全体計画と指導計画、給食の時間の指導の特徴を解説する。</p> <p>第11回 給食の時間の指導① 給食の時間における指導の進め方、指導の実際の事例を用いて解説する。</p> <p>第12回 給食の時間の指導② 給食の時間の指導の学習指導案の書き方を説明した後、学習指導案を作成する。</p> <p>第13回 給食の時間の模擬授業① 学習指導案を基に模擬授業方式で個別発表をする。</p> <p>第14回 給食の時間の模擬授業② 学習指導案を基に模擬授業方式で個別発表をする。</p> <p>第15回 個別栄養相談指導 個別栄養相談指導の特徴および指導の方法、食物アレルギー児童の対応を解説する。</p> <p>定期試験</p>
学習到達目標	<p>①栄養教諭の使命、職務内容、「食に関する指導の目標」等を理解する。</p> <p>②食教育に相応しい学校給食の食事内容〔地場産物、郷土料理等〕を理解し、献立作成ができる。</p> <p>③給食の時間の指導方法を理解して学習指導案を作成し、模擬授業を実践することができる。</p>
授業の方法	<p>【授業形態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義形式を主とし、給食時間における指導の演習等も行う。 <p>【アクティブラーニングの取り入れ状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションを随時取り入れる。 <p>【ICTを利用した双方向授業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じてオンライン、オンデマンドで実施 <p>【その他特記事項】</p>
成績評価の方法	<p>【評価項目】</p> <p>定期試験、模擬授業、授業中課題、授業参加意欲・態度</p> <p>【割合】</p> <p>定期試験70% 模擬授業10% 授業中課題10% 授業参加意欲・態度10%</p>

教科書・テキスト	栄養教諭論 ―理論と実践― 建帛社
参考書	食に関する指導の手引き
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	①学校給食の特性について理解に努め、プリントやノートを整理する。 ②給食の時間の学習指導案を作成し、模擬授業発表のための教材作りや演習準備に取り組む。
履修上の留意事項	小・中学校において、食に関する指導を行う教育者「栄養教諭」を目指していること。 次年度、教育現場において、栄養教諭としての教育実習を行うこと。
オフィスアワー	講義修了後、研究室にて
課題に対するフィードバックの方法	提出された課題等については、講義の中で共有し改善する。
実務経験	管理栄養士 学校栄養職員 栄養教諭 指導主事 小学校教頭
その他	授業時間数に制限があるため、期日までに学習指導案作成、教材作りなど演習の準備を行うこと。